

前期の子供の成長と後期に向けて！

校長 常山 隆治

大雨や度重なる台風に伴う自然災害により、日常生活に影響が発生している地域もあります。また、外に出ると熱中症の危険や早めのインフルエンザの流行により、体調管理が大切になります。こまめな水分と栄養の補給、そして、手洗い・うがい、適切なエアコン利用と十分な睡眠等で健康に過ごし、元気な姿で10月6日の後期の登校を願っています。

さて、子供たちの大きな事故等もなく、無事に前期（92日間）が終了し、終業式を迎えられることに、保護者の皆様に感謝申し上げます。誠にありがとうございました。子供たちは、学級対抗リレー大会や写生会等の様々な行事を通して、自分の力を伸ばしたり友達との輪を広げたりしながら成長したと思います。また、夏休みは、理科や社会科などの自由研究に取り組みながら、「どうしてこの地域には、〇〇が多く存在するのだろうか？」「この昆虫は？」等々、ちょっとした疑問、きっかけから子供の探究心を育てていることに頼もしさを感じました。さらに、教育実習期間中は、積極的に実習生に学校の様子を伝えたり授業で発表したりしながら、相手意識（実習生に対する思い）を高めている姿に感心しました。そして、マイプロの中間発表では、自分の成長が感じられるようにタブレットを用いながら写真を提示したり、今後の課題解決のプランニングを発表したりする姿から、プレゼン力の凄さを感じました。

そこで、終業式では成長した姿の価値付けと、後期に向けて「自分で考える習慣を身に付ける」「周りを見て相手の立場や気持ちを想像する」附属小のみんなであってほしいこととお話ししました。子供たちは、つい「何をしたらいい？」と大人に尋ねたり、逆に大人は、全てを指示したりすることがあります。発達の段階として、当然そういう時期もありますが、「〇〇ということから〇〇するとよい」と、理由を明確にしながら自分の考えを伝えたり、「みんなが使う公共施設だから・・・」と、周りの状況から他者意識をもった自分の考えで行動したりできるように育てたいものです。そのためには、大人のひと声「自分の考えたようにやってごらん」と後押ししたり、「〇〇のやり方もあると思うけど、どうかな？」と考えさせたりする向き合い方を数多く試みることが大切だと思います。このことが、PTAテーマ「決定・調整する力」にもつながり、子供の自己肯定感の高揚にもなると思います。

【10月の主な行事】

※ 秋季休業（～5日）	15日（木）5年生自然教室（～16日）
3日（土）ふぞくまつり2026	24日（土）運動会
6日（火）後期始業式	25日（日）運動会予備日
7日（水）学年・学級PTA（高）	26日（月）運動会振替休日
8日（木）学年・学級PTA（中）	28日（水）6年生修学旅行（～30日）
9日（金）学年・学級PTA（低）	31日（土）PTA制服バザー
13日（火）冬服更衣準備期間（～11月6日） 運動会係間連携（15：20～16：00）	



～「決定・調整する力」を育成しよう～

8月21日（金）から登校が再開しました。美化作業や教育実習、日々の生活において、児童や保護者、教育実習生、職員が関わりながら、決定したり調整したりする姿がたくさん見られています。

● PTA 美化作業・6年生親子美化作業が開催されました

8月22日（土）には、PTA 美化作業・6年生親子美化作業が開催されました。6年生親子やちからの会、学校職員が参加し、校内の美化作業を行いました。作業では、一緒に汗を流す仲間と清掃箇所を決めたり役割分担したりするといった姿が多く見られました。また、当日の夜には、ちからの会保護者全体懇親会も開催され、保護者と職員で交流を深めたり、前期後半以降のちからの会のイベントについて見通しをもったりすることができました。引き続き、御協力よろしくお願いいたします。

● 第1・2免許教育実習 ～夢や目標に向かう実習生と子どもとの関わり～

8月24日から9月18日までの約1か月間、教育実習が行われました。初日の開講式では、校長が実習生に対して、子どもと関わりながら教育に携わる上での責任感や使命感について語りました。実習生は、開講式やオリエンテーションで学んだことを生かし、子ども一人一人への働きかけを吟味しながら、授業や生徒指導、保健指導に臨んでいました。

子どもたちは、「教職に就く」という夢や「よりよい教育活動を展開する」といった目標に向かう実習生との会話や関わりを通して、自分の夢や目標について思いを馳せたり、自分の発言や行動を振り返ったりする機会になったようでした。本校は、「教職の魅力発信基地」「授業創造の学び場」といった役割を担っています。これからも職員一丸となって、これからの教育を担う学生に対して、教職の魅力ややりがいを伝えたり、授業づくりについて一緒に考えたりしていきたいと考えます。



【開講式での職員との対面】



【職員との教材研究】



【実習生の授業】



【実習生を送り出す子どもたち】

【子どもたちの感想】

- ・ 私の嬉しかったことや悲しかったことを教育実習生は、いつも聞いてくれた。そして、昼休みもたくさん遊んでもらった。話を聞いてもらったり遊んでもらったりしたことで心がぽかぽかした。私も教育実習生みたいに、何かをがんばろうと思った。（1年生）
- ・ 教育実習生は、大学で勉強している内容や中学生や高校生の頃の部活動の話をしてくれました。そのような話を聞いている中で、「私もあつという間に大学生になりそうだな。中学校では、どのようなスポーツに挑戦しようかな。」など、少し先の目標について考えることができました。（6年生）

● 令和8年度全国学力・学習状況調査結果について

6年生を対象に4月に実施した令和8年度全国学力・学習状況調査における本校と全国の平均正答率は、右表の結果となりました。

また、質問紙調査結果を分析すると、自己有用感の高まりや将来の夢や目標をもっている児童が多いといった成果が得られたことが分かりました。一方で、『普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれ

くらいの時間、スマートフォンや携帯電話、パソコン、タブレット、ゲーム機、テレビ等（以下、「スマートフォン等」）でSNSや動画視聴などをしますか（スマートフォン等を使って学習する時間やゲームをする時間は除く）』という質問に対して、2割の子どもが3時間以上と回答していました。全国的にもメディアとの関わり方については課題がありますが、本校においても保護者と連携しながら、メディアとの関わり方について考える機会を与えていきます。

【本校・全国の平均正答率（％）】

教科	全国	本校
国語	61.1	77
算数	56.6	75